

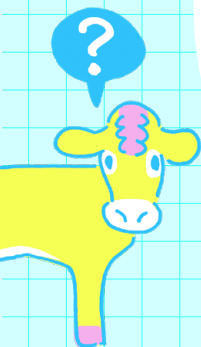


2024

授業
アンケートから

学生の 選んだ 「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award
Prize Winners List 2024



TOKAI UNIVERSITY

◆一緒につくろう!『いい授業』◆

学生の皆さんへ

今回も、皆さんにご協力をお願いした「授業についてのアンケート」において、特に高い評価の先生方を「Teaching Award」として表彰しました。受賞された先生方の授業は、いずれもアクティブラーニングを活用し、東海大学が社会的実践力を養うために設定した「4つの力」を、最も反映した授業です。これらの授業を通して、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を主体的に身につけてください。そして、学生の皆さんには、「明るく、元気よく」学生生活を送ることを強く希望します。これを、自分の意思をもって実行することは非常に難しいことです。若いうちに「明るく、元気のよい」姿勢、考え方を身につけ、素晴らしいキャンパスライフを送ってください。

東海大学 学長 松前 義昭



「4つの力」でいい授業をつくろう

やあ! 僕はリッキー! 東海大学の「4つの力」イメージキャラクターだよ!

2009年に東海大学が社会的な実践力を養うための具体的な教育目標(育成する力)としてこの「4つの力」を策定したんだ。

「4つの力」とは、「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の4つ。

自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探究する力

集い力

多様な人々の力を結集する力

挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力

成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力

僕と一緒に「いい授業」をつくりましょう!!

東海大学の「4つの力」
イメージキャラクター リッキー



2024 授業アンケートから/ 学生の選んだ「いい授業」

Tokai Univ. Teaching Award Prize Winners List 2024

◆ 優秀賞受賞者（2023年度選出）◆

児童教育学部
児童教育学科

おいかわ るみ
及川 留美先生



観光学部

やまぐち ゆみこ
山口 有美子先生



工学部
応用化学科

あきぬま のりこ
浅沼 徳子先生



文理融合学部
地域社会学科

セタスラリー ジョン 先生
セタスラリー ジョン先生



国際文化学部
地域創造学科

つかもと みく
塚本 未来先生



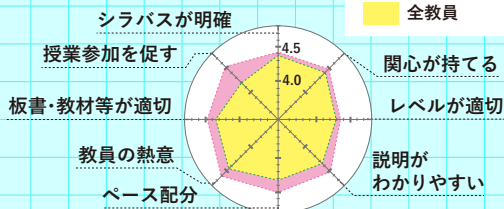
選考方法

東海大学では「教育の質向上」のために、1993年度から学生による授業アンケートを行っています。1年間に開講された全ての科目の授業を対象に、「授業についてのアンケート（Web方式で実施）」の「総合評価平均評価点」、「科目履修人数」、「アンケート実施率」等の結果を考慮し、学長室を中心に厳正なる審査を行いました。

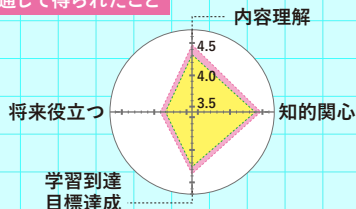
TA受賞者と全教員を比較

※2023年度実施結果

授業内容の工夫と進め方



授業を通じて得られたこと

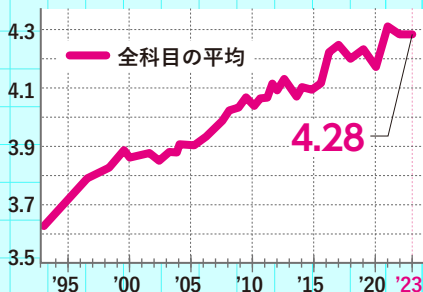


今回の総合評価は…

2023年度秋学期の平均
(5点満点中)

4.28

[全科目の推移(全教員)]





児童教育学部 児童教育学科

及川 留美先生

Oikawa Rumi



【学 位】修士(児童学)
【専門分野】保育／幼児教育
【主要授業担当科目】保育内容総論／
教育方法論(幼)／保育者論

現場に生きる「知」を目指して

主に保育者養成のための専門科目を担当しています。今後実践を担っていく学生たちにとって大切なことは、“知っている”ことではなく、“学んだことを実践に生かせる”ことだと考えています。そのため、授業では、まず講義で学んだことをもとに自分ごととして考えることを大切にしています。そして、いろいろな見方や考え方に触れながら自らの考えを深めていくために、複数人でのディスカッションやグループワークの機会を設けています。授業は、課題の振り返り、



授業テーマに沿った講義、講義をもとにしたショートレポートやワーク、ディスカッション等というように、できるだけ双方向となるように工夫しています。意識的に授業をいくつかのパーツに分けて構成することは、学生たちの集中力の継続にもつながると考えています。

及川先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすく
する

保育・教育の現場について、より具体的なイメージを持つことができるよう授業を展開しています。例えば、専門的な内容に入る前に、関連のある身近なことに置き換えて一緒に考えてみたり、保育現場の写真や映像をもとに学んだことの解説を加えたりしています。

主体的に
学ぶ

授業時間内には、学んだことをもとに各自レポートをまとめたり、ワークに取り組んだりします。最初は書くことに慣れていなくても、回を重ねるごとに短時間で文章をまとめることができるようになっていきます。授業前、授業後の課題もありますので、課題が多い授業といえるかもしれません。

聞き取り
やすくする

一方的に話し続けることのないように気を付けています。声の大きさ、話すスピードや間の取り方、問いかけてみるなど受講学生の反応を見ながら授業を進めています。

「いい授業」のために
私はコレを活用

Open LMS

授業後の課題レポートの提出や授業内容の確認小テストで活用しています。これらは後日振り返りができるように授業でフィードバックをしています。またフォーラムを利用して課題の質問を受け付けています。

学生VOICE!!

古柳 唯年さん Koyanagi Yuito
児童教育学部 児童教育学科 3年次生

及川先生の授業は、楽しいだけでなく「保育・教育における子どもの理解」という根本的でもっとも肝要な点を、実例を用いて考えるグループワークなどを通して、学生自らが考え、学ぶことができます。特に保育・教育の基礎の部分を扱う授業が多く、実践に向けた活動は、後の応用的な授業や保育園・幼稚園・小学校の実習に繋がります。



及川先生の
2024年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

	科目名	必選	単位	開講校舎
春学期	保育内容総論	必	1	湘南
	保育者論	必	2	湘南
	発展ゼミナール1	必	2	湘南

	科目名	必選	単位	開講校舎
秋学期	教育方法論(幼)	必	1	湘南
	乳児保育	必	2	湘南
	発展ゼミナール2	必	2	湘南



観光学部

山口 有実子先生

Yamaguchi Yumiko



【学 位】博士（応用言語学）
【専門分野】第二言語習得／英語教育学
【主要授業担当科目】
英語（観光学）／英語（日本の観光資源）／
異文化コミュニケーション入門

仲間と協力し合って力を伸ばす

長年英語教育に携わってききましたが、昨年度から日本語での講義科目「異文化コミュニケーション入門」も担当し、履修者が100名を超えるクラスでもアクティブ・ラーニングを取り入れてグループワーク中心に進めています。英語科目では3～4人、講義科目では5～6人のチームを組んで座席を指定して定期的に席替えも実施し、クラス全体が仲良く協力し合って学べる環境作りに努めています。講義とグループワークを交互に展開しながら、少しでも早く学生の名前や特性を把握できるよう、頻繁に教室を歩き回って学生とやり取りします。コミュニケーションが苦手な学生でも参加しやすい授業、個々の力を最大限に引き出せる授業を目指しています。



山口先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすく
する

スライドで提示する情報は大きな文字で簡潔に、写真、イラスト、地図を盛り込んだり、学生にとって身近な例や自分の経験談を紹介したりしながら、記憶に残りやすい説明を心がけています。

主体的に
学ぶ

全てのアクティビティにグループ単位で取り組み、交代でリーダーとなって話し合った結果を発表してもらいます。他のグループとなるべく被らない内容を準備する、アイデアの数を競争する、などゲーム要素も取り入れて、緊張感を持たせつつ積極的に考える姿勢を促します。

聞き取り
やすくする

子供向け英語クラスでも教えていたので、大きな声で抑揚をつけて話すスタイルが染み付いていますが(笑)講義のポイントは特にゆっくりはっきりと、大教室でもなるべく1人1人を見ながら話しかけるように説明します。

「いい授業」のために
私はコレを活用

課題シート

他のグループの発表内容も手書きでメモを取らせて集中力を維持し、メモをもとに仕上げた課題シートで学びの定着、次回授業でのフィードバックでモチベーション向上を図っています。

学生VOICE!!



吉川 桃夏さん Yoshikawa Momoka
観光学部 観光学科 4年次生

山口先生の授業は、グループワークやディスカッション、グループ発表など、主体的に英語に触れることができる双方向性が特徴です。また、ディズニーワールドのインターンシップも担当しており、実際に面接対策や参加する上での相談に乗っていただくなど、手厚くサポートしてくださいました。授業内外で積極的に英語と関われるよう背中を押してくれる、フレンドリーで頼れる先生です。

山口先生の
2024年度の
授業

▶授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認！

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	英語（観光学）1	必	2	湘南
	異文化コミュニケーション入門	選	2	湘南
	英語（日本の観光資源）1	選	2	品川

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	英語（観光学）2	必	2	湘南
	異文化コミュニケーション入門	選	2	湘南
	英語（日本の観光資源）2	選	2	品川



工学部 応用化学科

浅沼 徳子先生

Asanuma Noriko

E-mail : asanuma.noriko@tokai.ac.jp



【学 位】博士(工学)

【専門分野】

再処理化学／分離化学／放射化学

【主要授業担当科目】

分析化学1／分析化学2／放射化学／
化学安全工学2／応用化学実験1／原
子力・放射線概論

学ぶことの興味深さを知って欲しい

化学のように高校までに学んだことを含む内容があれば、原子力や放射線のように、学生にとってほとんど未知の分野を扱うこともあります。どのような分野でも、基礎的な理解を積み上げていくことで、専門性の高い内容にも興味関心を持って取り組むことが出来るようになります。「分かる」とは「面白い」です。面白いから興味がわきます。大学で学ぶことの面白さを感じてもらいたいと思っています。授業では、学生の視線や反応をよく観察するようにしています。集中力は大人でも長くは続かないので、学生の反応を見ながら適宜問いかけたり、取り組む内容を切り替えて、リフレッシュしながら集中できる雰囲気を作るように心がけています。



浅沼先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすく
する

図表や画像はスライドで投影すれば効果的に視覚情報として伝わりますが、手元に残りません。必要なものは印刷して配付し、重要なことは書くように促します。見る(読む)、聞く、書くという学習の基本を大事にしています。

主体的
学ぶ

放射線や放射性物質の化学は、意外と身近な生活に関係しています。未知の分野を知り、理解できれば満足度につながります。もっと知りたいと思うようになるべく具体的なかつ身近な例を示しながら説明するように心がけています。

聞き取り
やすくする

一人一人に語りかけることを意識して説明するようにしています。また、コミュニケーションをとるつもりで、声が届いているかどうかを確認したり、前方の席へ座るよう促すなど、学生の聞く姿勢にも気を配るようにしています。

「いい授業」のために
私はコレを活用

課題のフィードバック

簡単な演習を出席問題として課し、内容をチェックして次の授業の際に返却します。時には、Open LMSの課題ツールを利用しますが、必ずコメントを返すようにしています。1対1のやり取りが、理解度の把握と向上に役立ちます。

学生VOICE!!



一山 洸さん Ichiyama Hikaru
工学部 応用化学科 3年次生

浅沼先生の講義は、授業資料が配布され、内容理解が進むよう工夫されています。加えて、講義の出席確認を兼ねた演習問題によって要点をおさえることができます。自身の理解度をすぐに確認することができるため、足りていないところを復習する習慣が身につきました。「工科の確率・統計」の授業ではExcelを用いた統計処理を学ぶことができたため、実験結果を処理する際に役立っています。

浅沼先生の
2024年度の
授業

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

	科目名	必選	単位	開講校舎
春学期	分析化学1	選	2	湘南
	放射化学	選	2	湘南
	応用化学実験1	選	2	湘南

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	工科の確率・統計	選	2	湘南
	化学計測	選	2	湘南



文理融合学部 地域社会学科

セタキスラリージョン先生

Xethakis Larry John

E-mail : xethakis.larry.john.k@tokai.ac.jp



【学 位】博士(文学)
【専門分野】言語習得心理学
【主要授業担当科目】
英語リスニング&スピーキング

関与(エンゲージメント)とコミュニケーション

授業の目的は、この2つの言葉にまとめることができます。学生が勉強に関与し、他の学生とコミュニケーションを取る機会が与えられれば、学習意欲が高まります。学生の関与を高めるために、授業では学生の生活に近いトピックに焦点を当て、学生に自分自身について話したり、他の学生のことを聞いたりする機会を与えます。多くのスピーキング活動は、学生に本物の英語を練習する機会を与え、自信と意欲を育むのに役立ちます。学生は他の多くの学生とコミュニケーションを取ることができるように、頻繁にパー



トナーを変えます。単語当てゲームなどの簡単な活動は、コミュニケーションを構築し、学生の不安を軽減し、前向きな学習環境を作り出します。私は学生の名前を覚え、毎回の授業において名前であいさし、宿題を個別に返すことなどを通じて、この雰囲気醸成しようとしています。

セタキス先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする

授業で活動や課題を行う前に、学生はペアで課題に使用する言語を理解していることを確認します。私はペアの間を歩き来しながら質問に答え、学生が理解していないことがあれば説明します。授業中に質問があった学生には授業後に、Teamsのチャットでフォローアップをします。

主体的に学ぶ

学生は、たくさんの新しい単語やフレーズを学ぶのではなく、自分の知識を使って、興味のあることを話したり、英語を日常生活に結び付けたりする機会を提供することで、自分自身の英語力を伸ばすことが奨励されます。

聞き取りやすくする

活動や課題を説明するとき、英語と日本語を繰り返して使用し、学生の表情を積極的に観察して理解しているかどうかを確認します。また、学生が説明をはっきりと理解できるように、パワーポイントのスライドでも説明を示します。

「いい授業」のために私はコレを活用

コミュニケーションの育み

コミュニケーションを取ろうとする意欲が最も重要です。授業中に学生と話したり、英語でコミュニケーションを取りながら相手のことを知り、新しい友達を作る機会を与えるように努めています。

学生VOICE!!

内田 杏樹さん Uchida Anju
農学部 食生命科学科 2年次生

セタキス先生の授業は、実際に英語を話すことに力を入れている点が特徴です。授業で行うスピーキングの話題を事前にライティング、リーディングすることで記憶に残りやすくなり、どんどん話す力が身につきました。さらに、洋楽のリスニングは歌詞に着目することで、英語の奥深さを知りました。フレンドリーでユニークなセタキス先生は、明るく楽しい授業を展開するため、英語がより好きになります。



セタキス先生の
2024年度の
授業

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認!

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	英語リスニング&スピーキング	必	2	熊本
	英語リーディング&ライティング	必	2	熊本
	基礎英会話A	選	1	臨空

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	英語リスニング&スピーキング 基礎英会話A	選	1	熊本



理論と実践をつなげて学び続けること

学ぶことや考えることは楽しいことだと伝えられるよう試行錯誤しています。授業では、学生たちが夢中になって取り組み、歓声と笑いが自然と起こる場面づくりを目指しています。そのために、初めの授業において、受講のルールを説明して、みんなで授業を作り上げるように促しています。学生からは「先生が一番楽しそうですね」と声をかけられます。また、授業内での重要など



ころほど、覚えさせるのではなく、何度も繰り返し設定し、常に意識させるように心がけています。健康に関する授業が多いことから、学生自身の生活そのものが題材になります。多くの方が抱える健康課題に対して、その予防や改善方法についての科学的な知見を取り入れ、自分ごととして考えてもらうように設定しています。

【学 位】修士(教育学)

【専門分野】健康科学

【主要授業担当科目】スポーツ栄養学／公衆衛生学／球技の理論と実習B／スノーボードの理論と実習／健康・フィットネス理論実習／生涯スポーツ理論実習

塚本先生の『授業をよくするため』のテクニック

わかりやすくする

授業で難しかったところやもう一度説明してほしいところについて、翌週の授業で取り上げ、説明しています。みんなが「できる」「知っている」が当たり前ではなく、これまでの学びを振り返りながら、授業を進めるようにしています。

主体的に学ぶ

授業開始時は、振り返りシートによる学生コメントを紹介して、お互いの興味・関心、疑問を共有します。また、健康に関する理論をわかりやすく伝えながら、得られた知識を自らの知恵として実践できるように身近な話題を取り入れるようにしています。

聞き取りやすくする

重要なお知らせ、問の取り方を大切にしています。教室内が急に、シーンとなると、学生たちは大注目してくれます。また、スライドを変える前に、ノートを取りたい人がいないかどうかを確認しています。

「いい授業」のために私はコレを活用

授業参観や振り返りシートの活用

ほかの先生方の授業を参観させて頂き、いいなと思うところを自分の授業に取り入れています。また、振り返りシートに教員のコメントを添えて返却することで、学生個人の課題に寄り添い、改善方法を一緒に考えることができます。

学生VOICE!!

相澤 匠さん Aizawa Taku
国際文化学部 地域創造学科 3年次生

塚本先生の授業は、一人一人が興味を持ち、理解しやすい雰囲気の特徴です。講義内容に加え、生活の質を向上させる工夫など、実生活に直接活かすことのできる知識が得られます。授業に関する疑問などは、振り返りシートに記入することでフィードバックされ、問題解決できます。授業を問わず、学生に対して真摯に接してくれるので、気軽に質問のできる先生です。



塚本先生の
2024年度の
授業

▶ 授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site)「シラバス参照」で確認！

春学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	スポーツ栄養学	選	2	札幌
	球技の理論と実習B	選	1	札幌
	健康・フィットネス理論実習	必	1	札幌

秋学期	科目名	必選	単位	開講校舎
	公衆衛生学	選	2	札幌
	スノーボードの理論と実習	選	1	札幌
	生涯スポーツ理論実習	必	1	札幌

学生の選んだ「いい授業」 受賞者一覧 (2002～2023年度)

※退職者、名誉教授、掲載辞退者を除いています。
※現在の所属名称で表示しています。

マーク
の
見方



優秀賞('00:受賞年度 '00年:受賞年) *...2007年度以前の「最優秀賞」を示す。(2007年度以前は選考方法が異なり最優秀賞と優秀賞があるため)

文学部	文学学科	井野上 眞弓 先生	15
	北欧学科(団体受賞)		14
文化社会学部	文芸創作学科	青山 七恵 先生	22
		堀 啓子 先生	07年
	広報メディア学科	笠原 一哉 先生	19
	心理・社会学科	浅井 千秋 先生	07
教養学部	芸術学科	有沢 孝治 先生	06 08
		梶井 龍太郎 先生	03 04
児童教育学部	児童教育学科	及川 留美 先生	23
体育学部	体育学科	内田 匡輔 先生	18
	武道学科	天野 聡 先生	12
	生涯スポーツ学科	野坂 俊弥 先生	17
健康学部	健康マネジメント学科	阿部 正昭 先生	13
		小林 理 先生	14
		西垣 景太 先生	22
経営学部	経営学科	岩谷 昌樹 先生	06 09
		森山 弘海 先生	03 04
国際学部	国際学科	荒木 圭子 先生	15
		小山 晶子 先生	16
		小貫 大輔 先生	07 10
		田辺 圭一 先生	18
観光学部	観光学科	立原 繁 先生	10
		本田 量久 先生	21
		山口 有実子 先生	23
		大竹 恒平 先生	19
情報通信学部	情報通信学科	西口 宏美 先生	07年
		星野 祐子 先生	22
		鍋井 理沙 先生	21
		小川 竜 先生	16
理学部	数学科	古谷 康雄 先生	06
	物理学科	遠藤 雅守 先生	05
	化学科	関根 嘉香 先生	03 04 08
情報理工学部	コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	02 07
	情報メディア学科	内田 理 先生	05
		濱本 和彦 先生	02

工学部		航空宇宙学科航空宇宙学専攻	池田 知行 先生	
		航空宇宙学科航空操縦学専攻	新井 直樹 先生	
		機械システム工学科	加藤 英晃 先生	
		電気電子工学科	大山 龍一郎 先生	
		生物工学科	笹川 昇 先生	
		応用化学科	浅沼 徳子 先生	
			シュロズブリー マークリチャード 先生	
医学部		医学科外科学系	増田 良太 先生	
		看護学科	石井 美里 先生	
海洋学部		海洋生物学科	村山 司 先生	 
			岡田 夕佳 先生	
人文学部		人文学科	栗原 ゆか 先生	
文理融合学部		経営学科	田中 靖久 先生	 
		地域社会学科	セタキス ラリー ジョン 先生	
農学部		農学科	松田 靖 先生	
		動物科学科	今井 早希 先生	
			檜村 敦 先生	
国際文化学部		地域創造学科	植田 俊 先生	
			田川 正毅 先生	
			広川 龍太郎 先生	
			山田 秀樹 先生	
			塚本 未来 先生	
		国際コミュニケーション学科	ディーンエリックスティーブン 先生	
			ハミルトンマークC 先生	
			藤森 修 先生	
		デザイン文化学科	中尾 紀行 先生	
生物学部			生物学科	笠原 宏一 先生
		海洋生物科学科	和泉 光則 先生	
			大橋 正臣 先生	
			野坂 裕一 先生	
			総合教育センター	
資格教育センター	学校教育学系	朝倉 徹 先生	  	
	稲垣 智則 先生			
総合教育センター	社会教育学系	篠原 聡 先生		
		英語教育学系	星野 芳恵 先生	
	語学教育センター	国際言語教育学系	安 小鉄 先生	
			キム ミンス 先生	
			佐藤 浩一 先生	
			中島 仁 先生	
			理系教育センター	
	栗田 太作 先生			
永野 光浩 先生				
堀澤 早霧 先生				



各種アンケートを実施

東海大学では、学修状況や教育環境の改善のため、以下のようなアンケートを実施しています。今後も入学から卒業まで、学生一人ひとりの声に耳を傾け、学びの場の充実に努めていきます。

① 授業についてのアンケート

受講学生からの“声”を教員へフィードバックし、魅力ある授業づくりにつなげている

今年度は以下の日程で実施予定です！

「いい授業」をつくるため、学生の皆さんの率直な“声”をお寄せください!!

・春学期 **2024年7月1日(月)から9月19日(木)まで**

・秋学期 **前半講義分(全7回授業)2024年10月18日(金)から11月30日(土)まで**
通常講義分(全14回授業)2024年12月2日(月)から2025年3月4日(火)まで

※TIPSを活用したWEB方式で実施します。詳細はTIPSにてお知らせします。

② 卒業にあたってのアンケート

卒業時に大学全般のことについて広く意見を集め、今後の教育環境改善に役立てている

③ PROGテスト(1年次生)／「4つの力」アセスメント(3年次生)

ディプロマ・ポリシーに基づく学修成果の可視化に役立てている

2024年度「授業参観」及び Teaching Award受賞者の「授業公開」の実施

東海大学では、教員相互の授業参観を通じて、優れた授業の展開や組織としての教育力の向上につなげる観点から、「授業公開」「授業参観」をFD活動の重要な手段のひとつとしています。

また、2023年度Teaching Award受賞者の先生方にご協力をいただき、教職員を対象に以下の日程で「授業公開」を実施します。

■Teaching Award受賞者による「授業公開」

教員名(所属)	授業科目名	日程(2024年)	時限	キャンパス
及川 留美(児童教育学部児童教育学科)	保育者論	6月13日(木)	3	湘南
山口 有実子(観光学部)	異文化コミュニケーション入門	6月21日(金)	3	湘南
浅沼 徳子(工学部応用化学科)	原子力・放射線概論(セッション科目)	7月30日(火)	1	湘南
セタキス ラリー ジョン(文理融合学部地域社会学科)	英語リスニング&スピーキング	6月18日(火)	1	熊本
塚本 未来(国際文化学部地域創造学科)	スポーツ栄養学	7月 5日(金)	3	札幌

・授業内容はTIPS(Tokai Information Portal Site) から「シラバス参照」で確認できます。



東海大学

発行:東海大学 編集:東海大学 学長室 教学(教育支援)担当
TEL:0463-63-4824 E-mail: shien-fdsd@tokai.ac.jp
東海大学オフィシャルサイト: <https://www.u-tokai.ac.jp>

東海大学

検索

